

2P~3P 広報紙まつりを特集

受賞作品を紹介します!

第136号3月11日発行

PTA さっぽろ

編集・発行:札幌市PTA協議会 広報委員会
 ホームページ <https://sapporo-pta.gr.jp/>
 e-mail shipikyo@sapporo-pta.gr.jp
 〒063-0051札幌市西区宮の沢1-1-10
 札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371
 印刷:株式会社OK印刷




「三行詩」は、日本PTA全国協議会主催「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩募集、家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に際し昨年募集したものです。市内小中学校の児童・生徒と保護者の皆様より549点の作品が寄せられた中から札幌市PTA協議会会長賞4点、奨励賞11点が選ばれました。

「交通安全標語」には市内小中学校176校からのご応募があり、各区最優秀賞を

令和5年12月9日(土)札幌サンプラザにて、札幌市PTA協議会「三行詩優良作品表彰式」と一般社団法人札幌市PTA共済会「交通安全標語コンクール表彰式」が行われました。

三行詩・交通安全標語 表彰式



はじめ優秀賞・佳作の各賞が選ばれました。たくさんのご応募ありがとうございました。受賞された皆様おめでとうございます。

優良三行詩 会長賞

小学生の部

ママにゆういんパパと二人のごはんづくり
 しっぱいも「おいしいね。」と、
 えがおではげましあい。
 お母さんのたん生日にこっそり用意した花束
 しおれてもかざってあった
 次はどんなお花にしようかな

中学生の部

授業参観、恥ずかしいから来ないでほしかった。
 けど、友達に顔似てるねって言われた時
 ちよっと嬉しかった。

一般の部

母の日に「ありがとう。」とハグしてくれる
 何より嬉しいプレゼント
 いつまでももらえるのかなこのプレゼント

交通安全標語コンクール 各区最優秀賞

東区	ドライバー 手もと見ないで ぼくを見て(中3)
西区	イヤホンは けがにつながる じこのもと(小4)
南区	にここにこゆずりあい いってきます。(小1)
北区	見られてる あなたの運転 大丈夫(小6)
中央区	前を見て! 行動一つで 変わるんだ(小6)
白石区	車では 視覚じゃ見えない 死角あり(小5)
豊平区	「まあいいか」 そんな思いに ブレーキを!(小6)
厚別区	自転車に 乗ったらきみも 運転手(小4)
手稲区	さきどうぞ いそぐときこそ ゆずりあい(小1)
清田区	そのスマホ そんなに大事? いのちより(小4)

「札幌市文教施策に 関する要望書」 回答書手交式

令和5年12月26日(火)札幌市教育委員会教育長室にて手交式が執り行われ、「令和6年度札幌市文教施策に関する要望書」への回答書が檜田教育長より中野会長へ手渡されました。

その後、会議室にて、回答書作成にあたった教育委員会の関係部署のみなさまとの意見交換会が行われました。要望書への記載には至らなかった意見書から「トイレの洋式化」「学級の定員」「通級指導教室」「部活動」など、全10項目に関して保護者の生の声をお伝えし、現状についてお話をいただきました。

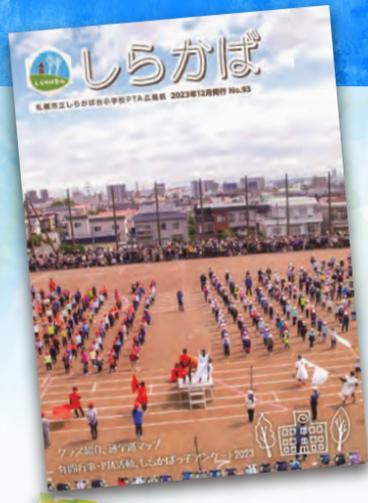
最後に、中野会長・永田総務委員長より回答書および意見交換会開催についての感謝が述べられ、木村生涯学習部長からは「今後も《学校・家庭・地域が共に子どもを育てていく》という視点に立ち、それぞれの役割を果たしながら連携を深めていければと考えています」とお言葉がありました。

今年度の「要望書」「意見書」および「回答書」は、札幌市PTA協議会のホームページに掲載されていますので、是非ご覧ください。




令和5年12月26日(火)札幌市教育委員会教育長室にて手交式が執り行われ、「令和6年度札幌市文教施策に関する要望書」への回答書が檜田教育長より中野会長へ手渡されました。

毎日新聞社賞 最優秀賞



しらかば台小学校 保護者と先生の会 「しらかば」

講評

色づかいがシンプルでありながらきれいなところに引かれました。クラス紹介は「クラスのスローガン」や「写真のテーマ」で特徴を出し、通学路マップも子どもが注意すべき場所をわかりやすく示している点に好感を持ちました。広報委員の未経験者が多数という中で、PTA活動の紹介の中で広報紙作成の流れもさらりと触れていて、完成までに広報委員の皆さんの熱心な活動があったのだらうなと感じ取ることができました。

日本教育新聞社賞 最優秀賞



北野台小学校 父母と先生の会 「スマイルきたのだい」

講評

コロナ禍前に戻りつつある児童の学校生活と一家庭一活動へと変革したPTA活動に焦点を充て、テーマ毎に各記事をバランス良く配置し、読み手の心に響く説明と明瞭な写真により、メッセージ性のある大変素晴らしい紙面となっております。更に、保護者の関心事である小中一貫教育の取り組みや校舎改修、給食についての精力的な調査・取材による紹介は、非常に読み応えがあります。広報担当の皆様の企画・編集に対する熱意と一生懸命さが伝わってくる広報紙として高く評価されます。

市P協会賞 最優秀賞



東苗穂小学校 保護者と先生の会 「エール」

講評

サイズは、一般的なA・B版様式にこだわらない形式を採用していたのが新鮮でした。一面にもくじや表紙の写真の解説など丁寧な作りとなっており、児童のクラブ活動、委員会活動の紹介、特にPTA企画イベントの様子や、かかわった役員の思いなどが記載されており内容の多い楽しい広報紙でした。紙面の中で、全体バランスを考えながら写真と文章のレイアウト、表紙とそれに関わる記事を裏面に載せるなど多くの工夫が感じられました。

教育長賞 優秀賞



義務教育学校福移学園 PTA 「福移」

講評

学校の歩みを、当時の担任と児童だった元校長・教諭との対談でめぐる企画は秀逸。記憶に残る広報紙最終号でした。

毎日新聞社賞 優秀賞



あいの里西小学校 父母と先生の会 「時計塔」

講評

著名な卒業生へのインタビューや特別支援学級などを取り上げた特集ページが特徴的で、楽しめました。

北海道通信社賞 優秀賞



太平南小学校 保護者と先生の会 「太平南」

講評

①目を引く表紙②見開きページの統一感③PTA活動中心の編集など、広報ボランティアさんの想いが詰まった力作です。

市P協会賞 優秀賞



盤溪小学校 保護者と先生の会 「どんかち」

講評

多くの紙面を使って、児童の学校での様子が伝わるよう作られています。それぞれの記事も読み応えのある広報紙でした。

PTA共済会からのお知らせ

忘れていませんか？ 事故報告・共済会請求

年度末になりました。ケガをしたのに、「事故報告書」や「共済会請求書兼治療申告書」をまだ提出していない加入者はいらっしゃいませんか。

「事故報告書」は、事故日からその日を含めて30日以内に報告が必要です。事故後、速やかに提出して下さい。また、共済金の給付対象はケガをした日から数えて180日まで経過してしまいますので、まだ治療中であっても180日が経過してしまえば、すぐに請求して下さい。※「共済会請求書兼治療申告書」提出時には、領収書のコピーか診療明細書のコピーを添付して下さい。

事故報告書・共済会請求書用紙は、学校PTA事務局からお受け取り下さい。必要事項を正確に記入し、学校に提出して下さい。卒業・退学してから請求する場合は、ケガをした当時の園や学校に提出して下さい。

★共済会支払件数と支払金額(1月31日現在)

加入者	支払件数	支払金額	内 容
幼稚園	9	46,000	一般傷害(9)交通事故(0)
小学校	1,623	15,203,000	一般傷害(1,584) 交通事故(39)
中学校	321	3,803,500	一般傷害(307) 交通事故(14)
保護者等	5	457,500	保護者・教職員5件 特別0件
合計	1,958	19,480,000	死亡0件 後遺障害2件

障害に至る状況

①交通事故	②転倒	③転落	④衝突	⑤着地	⑥用具使用	⑦動物・植物	⑧投石	⑨その他
53件	700件	164件	450件	263件	304件	15件	1件	3件

割合: 転倒 36.7%, 衝突 22.3%, 着地 15.0%, 用具使用 14.1%, 交通事故 2.5%, 転落 8.3%, 動物・植物 0.6%, 投石 0.3%, その他 0.1%

※新年度に向けて学校(園)のPTA事務局より、加入のご案内パンフレットがお手元に届けられますので、単位PTAごとに皆様のご加入をお願いいたします。

●不明な点は、学校のPTA事務局または、札幌市PTA共済会事務局(☎671/2372)へお気軽にお問い合わせ下さい。

第46回 **札幌市PTA
広報紙まつり受賞作**
受賞おめでとうございます

広報紙まつり表彰式

2月19日(月)、ちえりあ6階講堂にて第46回広報紙まつり表彰式が行われました。今年度は3年ぶりに対面での審査会を行い、審査委員と広報委員が顔を合わせ広報紙について審議することができました。審査は①「PTA活動」の紹介②積極的な企画性・アイデアがみられるか③全体のバランス(見やすさ・読みやすさ)の3つの基準で行い、札幌市教育委員会、毎日新聞社、日本教育新聞社、北海道通信社、札幌市PTA協議会からそれぞれ最優秀賞・優秀賞を各1点、計10作品が選ばれ表彰されました。また、審査委員長の北海道通

信社 参与 村上直史様から入賞作品各紙について、優れている点や改良の余地がある点について丁寧にアドバイスしていただき、今後の広報紙作りの参考になりました。



4年ぶり 広報紙まつり作品展示

2月19日~22日の4日間、ちえりあ1階ロビーにて広報紙まつりの作品展示を行いました。展示を希望した18校の広報紙に加え、今回は各区PTA連合会発行の広報紙も一緒に展示しました。



広報紙の貸し出しを行っています

受賞広報紙はPTA会員の方に貸し出すことができます。貸し出しを希望される方は札幌市PTA協議会事務局までご連絡ください。

第46回 札幌市PTA 広報紙まつり全体審査評

ご応募くださいました各PTA広報担当の皆様、お疲れ様でした。そして今回受賞された広報担当の皆様、おめでとうございます。コロナ禍前の日常に戻りましたら「広報魂」は脈々と引き継がれていました。きょう広報紙まつりが開催されたことをうれしく思います。私たち審査委員はすべての広報紙を拝見し、大変魅力的で特色ある紙面づくりにかける「熱く強い思い」を感じました。特筆すべきは、広報経験の少ない方ばかりでも一生懸命自校のPTA活動紹介を記事として掲載できたこと。これは「アマチュア」精神で進めるPTA広報活動の一つの成功事例であり、今後の基本的な指針となるものです。プロでなくてもできるのです。私はこのように、「広報復活の輪」の広がり」を少しずつ感じてきています。今回も3つの観点、①PTA活動の紹介②積極的な企画性・アイデア③全体のバランス(見やすさ・読みやすさ)で審査いたしました。どの作品も取材力・構成力が見事で、個性引き立つ素晴らしい作品ばかりでした。

◎「読んでみたい!」が入口で出口

手に取ってもらおう広報紙への思い、これは全作品に表れていました。時代を表すQRコードも少しずつ登場するなど汎用性に富む工夫もありました。全体構成とともに、編集後記コーナーも一つの楽しみでした。作成後の「思い」がさりげなく散りばめられているからです。楽しく参加した方、絆が深まった方、作成した過程で感動し、感謝の気持ちをもった方、経験者がいない中、手探りで進める中で何かを感じられた方…。心に残る素晴らしい活動・体験だったことでしょう。記録として残り、やりがいを感じるのと同時に、費用対効果も念頭に置く時代。今後、「日常に戻った学校生活」にフォーカスし、本来の姿に戻ることを心から願っています。読者の「読んでみたい!」が入口(興味)でもあり出口(目的)なのでから…。

◎企画が紙面を左右する

「読まれるPTA広報紙づくり」(日刊「優秀広報紙集」)にあるように、今回の作品も、あいさつ・依頼原稿ばかりでなく、アンケート調査あり、新しいテーマへのチャレンジあり、またよくある「学校新聞的な紙面」にしない工夫もありました。身近で興味を引くテーマを取り上げるなど、その企画自体が広報紙を左右することを再確認しました。経験者が少なくてもできる新しい広報スタイル、そして素朴な企画を考えつつ、次の世代への橋渡しをしていただけるよう心から願っています。いつもご尽力いただいております札幌市PTA協議会広報委員会、役員並びに事務局の皆様、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。審査委員長 村上 直史(北海道通信社 参与)

教育長賞 最優秀賞

円山小学校
保護者と先生の会
「Smile」

講評

美しい写真と卓越したレイアウトで構成されていて、とても見やすく綺麗な広報紙。先生方による「コロナ後の学校の取組」についての対談は丁寧な取材と高い構成力が光る企画内容。他都市からの転入生も多い学校らしい、円山小独自の文化やスキー学習の紹介などに加えて、PTA活動の紹介もバランスの良い写真と文で秀逸。広報委員の皆さんが力を合わせて、丁寧に取組を進めていこうと頑張る姿が伝わる素晴らしい広報紙です。

北海道通信社賞 最優秀賞

西野中学校
保護者と教師の会
「蒼穹(あおぞら)」

講評

全体を通して読みやすい記事とレイアウトが秀逸です。カラフルな中にも穏やかな色調を意識して統一感を持たせたり、QRコードで学校HPとの連携を図ったり工夫が満載でした。アンケートを基にした部活動の実態調査から広報部員さんの高い取材力・構成力が伺えますし、文化祭に合わせて制作されたPTAコラージュパネルのページを強調し、「クマに翻弄された校外学習!」…など、学年ごとの見出しが読者の興味を引いたことでしょう。

日本教育新聞社賞 優秀賞

桑園小学校 保護者と先生の会
「桑の木」

講評

家庭学習アンケートの見事な解説をはじめ、各記事の紙面構成と内容に創意工夫がなされ、落ち着いた色調により大変読みやすく好感度の高い広報紙となっております。

令和5年度

国内研修団報告

令和5年度札幌市PTA協議会国内研修団は11月25日から27日の2泊3日の日程で、自己啓発と札幌市PTA協議会の資質向上を図ることを目的として大阪市を研修訪問させていただきました。

大阪市PTA協議会訪問

大阪市PTA協議会役員の皆様と札幌市PTA協議会を中心に同市で行われているPTA活動紹介や様々な情報、意見交換をさせていただきました。特に大阪市PTA開催のスポーツ大会の取り組みを通じての次世代の人材発掘・育成を興味深く聞かせていただきました。

阿倍野防災センター視察

阪神・淡路大震災を経験している土地であり、地震の恐ろしさを視覚で分らせる工夫を凝らした展示がよかったです。また地震体験装置があり皆で体験しましたが、くると分かっていても立ってられない程の揺れに、災害対策が必要なことを改めて実感しました。

義務教育学校生野未来学園訪問

札幌でも実施が始まっていて、今後増加していくであろう義務教育学校の取り組み、義務教育学校のメリットを色々伺うことができました。また実現するまでと実現してからの現在進行形での地域との関わりの重要性を強く感じる事ができました。



今回の研修で色々なことを学ばせていただきました。この研修で経験したことを今後のPTA活動に活かしてまいりたいと思います。最後に国内研修に参加させていただきましたことに感謝申し上げます。
(国内研修団 団長 鬼塚 和俊)



◀国内研修団報告書はホームページの各種資料集からご覧ください。パスワードは「231125」です。



編集後記座談会 with ナカノくん

永遠のテーマ？ 役員選考とボランティア化

そろそろ年度末。PTAの運営や活動に携わる方々は次年度のことが、そうでない方も次年度に声がかかったらどうしようかと悩む時期ではないでしょうか。今年度、市内のPTAに行ったアンケートで「他のPTAに聞いてみたいことはありますか?」の問いに複数寄せられた質問が「役員選考」と「ボランティア制」についてでした。どの学校でも共通の「なり手」不足のお悩みについて本紙3回目の登場になるナカノくんと広報委員で話してみました。



広報委員長

役員選考ってどうしてる?



さっそくですがこんな質問をいただいています。「うちの学校ではPTAの役員選考が毎年難航します。他の学校ではどのように行っていますか。何か良い方法があれば知りたいです」ということなんです。

- 広報委員A**
うーん、役員を選考はどの学校でも悩みの種かもしれませんね。
- 広報委員B**
そうですね、役員募集っていわばボランティア活動のまとめ役の募集ですね。まとめ役って聞くだけで、ちょっと大変そうですね。
- 広報委員C**
うちは「PTA事務局が何をやっているのかわからない」と言われたので、活動内容を書いたプリントを作成しました。
- 広報委員D**
うちもです。コロナ禍を経てPTA活動そのものを知らないご家庭が増えたので、そもそも何をやっているのかを丁寧に伝えないと、なり手不足の問題はさらに加速すると思っています。
- 広報委員E**
私は過去に積極的にボランティアに参加し

- てくださった方に声をかけることが多いですね。そのほうがいいお返事が多い気がします。野球やフットサルのPTAサークルがある学校は、その中から役員をやっている方が出ているそうです。
- 広報委員F**
役員選考委員って、事務局のことをわかっていてくれる方がいるので、私の学校では役員OBにお願いしています。クラス代表の中から役員選考委員を決める学校や、一人一役活動に委員を入れる学校もありますね。
- 広報委員C**
「やってみませんか」とアンケートをとって「興味あり」「やってみてもいい」「他に誰もいなければ…」と回答した人に声をかけていると答えてくれた学校もありました。ほかにも現役員の知り合いに声をかけることが多くなってしまふ、というリアルな意見もありました。

みなさん様々な情報をありがとうございます。私は「忙しくない保護者はいない」と思っています。みんな仕事に、子育てに、忙しい中で自分のできることを探して下さっているからこそ、その活動にかかる時間、活動の意味、活かせる経験を丁寧に説明するステップは、これからさらに大切になってくるのたろうと感じました。



都度募集のボランティアさんって、どうしてる?

さて2つ目の質問です。「よりスリムなPTA組織にするために年間を通じてやっていただく役員を減らして、都度募集するボランティアさんの割合を増やしました。ただ、大きなイベントなど運営に一定の人数が必要になる場合にボランティアさんが来てくれるか不安です。みなさんの学校ではどうしていますか?」という質問です。



- 広報委員C**
アンケートでも同じ悩みが多かったですね。ある学校では都度募集するボランティアの割合を増やしたほうが、「義務感」ではなく「希望して」参加して下さる方の割合が増えて活動が濃くなったそうです。
- 広報委員E**
役員の人数を減らしてボランティアを都度募集する流れは割と目につきましたね。
- 広報委員A**
私の所属する学校は来年度から都度募集のボランティア制に移行します。小規模校ゆえに意思疎通がシンプルなのでボランティアも集まりやすいと思っていましたが、中規模・大規模校はまた別の問題がありそうですね。
- 広報委員B**
こんな学校もありました。「時代の変化に合わせてつとも、人数が読めない都度募集の

- ボランティアよりも委員会体制のほうが、子どもたちへ安定した支援ができるかと判断して、もう一度委員会体制を立ち上げようとしています」という声です。役員制から都度募集するボランティア制に移行するばかりが正解ではないのだと感じました。
- 広報委員D**
ナカノくん、質問して下さった方は都度ボランティアの方が来てくれるかどうか心配なことですよ。希望の集約方法を工夫することですよ。希望のプリントを配布して回答してもらったり方から、Googleフォームでの募集にきりかえるのもあります。
- 広報委員F**
そういう小さな情報やノウハウの共有、もっとしたいですね。アンケートでも「情報が欲しい」という声が多かったです。募集の仕方、少人数での運営方法など、事例集が欲しいという声もありました。

いろいろな意見が出るテーマですよ。年度を通じて活動して下さる役員さん然り、都度募集のボランティアさん然り、足りない・少ないと捉えず、手を挙げて下さった方々の人数に活動の規模を合わせていく視点も大切かもしれません。一方で、登下校の見守り活動など、そんなふうに割り切りたくない、つまり、腕まくりしてくれる保護者さんをできる限り集めたい活動もありますよ。何が正解かは時代の中で変わっていきます。先ほど、活動を丁寧に説明するという話をしましたが、それって広報委員のみならずみなさんのお仕事でもあると思っています。今年度の活動はゴールが見えてきましたが、来年度もよろしくお祈りしますね。



ナカノくん、承知しました。来年の委員に引き継ぎますね。ところでナカノくん、この記事をもって今年の広報紙も終わりなので記念撮影をしてもらえますか?



お安い御用です。どこに座ればいいですか?



あ、いえ、ナカノくんは肖像権とか画像合成とかの問題があれなので、今日はシャッターを押してほしい的なオーダーなんですけど…。というわけでみなさま、今年度も「広報紙PTAさっぽろ」をお読みいただきありがとうございました。また来年度もよろしくお祈りいたします。

